

## 【社会】 <小学校 第6学年>

### 1 結果のポイント

- 「日本の歴史」については、農耕の始まり～貴族の生活、鎌倉時代の始まり～室町文化、織田・豊臣の天下統一～江戸幕府の始まり、黒船の来航～明治維新等の学習内容をみる問題の正答率は80%を上回っているものが多い。
- 「奈良時代」「平安時代」「鎌倉時代」の様子について、資料を活用しながら考える力をみる問題では、源頼朝の業績や、東大寺建立の理由を資料と関連付けて考え判断する力をみる問題の正答率は80%を上回っている。他方、藤原道長の時代の様子を資料と関連付けて考え判断する力をみる問題の正答率は65%程度であり、藤原道長に代表される貴族の生活について、資料と関連付けて考え判断する力は十分身に付いているとはいえない。
- 「黒船の来航」「明治維新」「文明開化」については、ペリーの日本来航の目的や、板垣退助の業績を年表と関連付けて考える力をみる問題、また「四民平等」の用語の理解をみる問題の正答率がいずれも85%を上回っている。他方、文明開化によって明治になって新しくなったものを資料から見付け、短い文で答える問題の正答率は70%程度であり、資料から読み取った事実を適切に表現する力は十分身に付いているとはいえない。

### 2 結果の分析

#### (1) 「知識・理解」の力をみる問題の例

<問題> **3** の1

1 次の①～③の絵や建物の写真と関係の深い人物を、ア～ウの中から選び、その記号を <input type="checkbox"/> 中に書きましょう。					
① すみ絵	② <small>ぎんかく</small> 銀閣	③ <small>きんかく</small> 金閣	ア <small>あしかがよしみつ</small> 足利義満	イ <small>あしかがよしまさ</small> 足利義政	ウ <small>せつしゅう</small> 雪舟
(写真省略)	(写真省略)	(写真省略)	(写真省略)	(写真省略)	(写真省略)

<結果> **3** の1の① 正答率 98.2% (正答…ウ)

**3** の1の② 正答率 89.7% (正答…イ)

**3** の1の③ 正答率 89.8% (正答…ア)

<分析>

この問題は、「室町時代の主要な文化財等の名称や関係のある人物についての理解」を確かめる問題である。室町時代の文化財や人物についての理解は、昨年度よりも正答率が上回っている。

また、**4**の1の①「織田信長の肖像とその業績の理解」、**4**の1の②③「豊臣秀吉、徳川家康の業績の理解」についても、正答率は85%以上である。これは、人物の肖像画等を用いながら、人物に対する関心を高め、人物の働きを共感的に理解できるような指導が進められていることによると考えられる。

これらの問題を含め、「知識・理解」の力をみる問題は、すべて正答率85%以上に達し、全体としては良好であり、基礎的・基本的な事項は十分身に付いていると考えられる。

#### (2) 「観察・資料活用・表現」の力をみる問題の例

<問題> **6** の4

(写真省略)

4 下の資料は、明治時代はじめての日本橋（東京）近くの様子です。この資料をみて、文明開化で人々や町の様子がどのように変わったのかを2つ見つけて、

<結果> 6 の4の① 正答率 70.7%

6 の4の② 正答率 66.9%

<分析>

この問題は、「資料から明治になって新しくなったものや変わったもの等について読み取り、表現することができるかどうか」を確かめる問題である。単語のみで文となっていないもの、1つしか記述していないという解答がみられた。資料をじっくりとみて、衣服、建物、乗り物、道具等が変化してきている具体的な事実を多く読み取ることや、読み取ったことを文章にして表現することにやや弱さがあると考えられる。同じように、「資料から事実を読み取ることができるかどうか」を確かめる問題として、3の2がある。この問題の正答率は、85%以上と良好であるが、やはり、1つしか見付けられなかったという状況がみられた。こうした点は、昨年度の結果でも、指導の充実が求められていることである。

今後、資料から具体的な事実を読み取ること、資料から読み取った事実をノートにまとめる指導と同時に、社会的なものの方や考え方を育てる指導の一層の充実を図り、調べて考えたことを適切に表現する力を育成する必要がある。

### (3) 「思考・判断」の力をみる問題の例

<問題> 2 の1

<p>ア</p> <p>鎌倉に 幕府開いて 武士の世つくる</p>	<p>イ</p> <p>人の和を 第一にせよ 17条の憲法</p>	<p>たかしさんは、<sup>しょうとくたいし</sup>聖徳太子、<sup>しょうむ</sup>聖武天皇、<sup>ふじわらのみちなが</sup>藤原道長、<sup>みなもとのよりとも</sup>源頼朝がそれぞれ活躍したころの学習をして、ア～エのようなカードにまとめました。これをみて、1,2の問題に答えましょう。</p>
<p>ウ</p> <p><sup>でんせん</sup>伝染病 仏教の力で おさえよ大仏</p>	<p>エ</p> <p>この世をば わが世とぞ思う 藤原道長</p>	
<p>①</p> <p><sup>へいあんきょう</sup>都が平安京（京都府）に移り、<sup>ちやうてい</sup>朝廷の政治は一部の有力な貴族が動かすようになりました。</p>	<p>1 次の①のことがらは、どのカードと関係がありますか。上のア～エのカードの中から一つ選び、その記号を<input type="text"/>の中に書きましょう。</p>	

<結果> 2 の1 正答率 64.8%

<分析>

この問題は、「平安時代の様子を資料を活用しながら考えることができるかどうか」を確かめる問題である。誤答としては、アのカードを選んでいるものが多く、ことがらの中の「平安京」

「朝廷の政治」「一部の有力な貴族」という平安時代の特徴と、カードの内容の「藤原道長」を関連付けて考えることができていなかった。

同じことは、**1**の1「米づくりが始まったころの様子を、とも子さんがまとめたノートの記述やその中にある想像図、出土品の写真等から考え判断する」や、**5**の1「参勤交代の目的を、歴史新聞の記述から考え判断する」にもあてはまり、正答率が70%台となっている。年表や文章によるメモ等と歴史的事実を表す資料とを関連付けて考えることにやや弱さがみられる。

いくつかの資料を関連付け、根拠を明らかにして考え、判断する力を育成することが、今後、一層求められる。

### 3. 分析を踏まえた指導の改善

#### (1) 指導計画の工夫改善

基礎的・基本的な内容の確実な定着を図ることや、歴史を学ぶ楽しさを実感できるようにするという観点から、指導内容が吟味、精選されているか見直しを図る。

- ・地域や児童の実態を踏まえ、基本的な事項・事柄を厳選し、網羅的な学習にならないよう重点を置くべき部分を歴史上の代表的な事象にとどめて指導内容が構成されているか、単元指導計画の見直しを図る。
- ・多くの人物が登場し、時代の変化が激しい幕末から明治維新以後の学習において、人物や代表的な文化遺産等にかかわる事象を確実に理解し、時代の大きな特徴をとらえることができるように、学習指導要領の「内容の取り扱い オ」に示された人物を確認し、十分な指導時間数を確保するとともに、指導計画を適正に運用する。

#### (2) 指導方法の工夫改善

「資料から読み取った事実を適切に表現する力」「資料を関連付け、根拠を明らかにして考え判断する力」を育成する必要がある。

- ・歴史学習では、人物と歴史的事象とを関連付けて扱うことを一層進めたい。重点化した歴史的事象と関連の深い人物を取り上げ、肖像画（写真）や伝記、エピソード（逸話）等を活用し、人物に対するイメージを豊かにもたせて追究の意欲を高めることが大切である。
- ・各人物の業績を各種の基礎的な資料や年表を活用しながら、具体的に調べたことや考えたことをノートにまとめる作業や、その時代に人物の果たした役割を仲間と話し合う中で理解を深めるような学習過程を工夫する。
- ・問題解決的な学習の充実を図り、「どの資料のどこから、どんなことを考えたか」「どういう視点や立場で考え、判断したか」が、児童に自覚できるよう適切な働きかけをしたり、根拠や追究の視点、立場を明確にした分かりやすい表現の仕方について指導したりすることが大切である。こうした学習過程や教師の指導・援助によって、時代の大きな特徴や歴史的事象のもつ意味を考え、歴史を学ぶ楽しさを実感できることが大切である。
- ・授業改善については、県の「学力向上プロジェクト」における各事例も参考にしたい。

#### (3) 学習環境の工夫、学習集団の育成等

- ・歴史学習においては、年表に親しませることに心がけ、人物等を扱うときなど年表でその時代を確かめる等、日常的に活用して学習を進めたい。
- ・学校図書館や博物館、郷土資料館等の活用を積極的に図り、我が国の代表的な遺跡や文化財などの観察や調査、実物や具体物を活用して実感をもって事実をとらえることができるように、学習環境の充実を図ることにも努めたい。
- ・仲間とともに交流し、互いのよさを認め合い、考えを相互に練り合う活動を位置付け、学び合う集団の育成に努めたい。その際、児童一人一人の見方や考え方のよさを価値付ける等して、児童が互いの学び方のよさを自覚できるようにすることが大切である。